

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ITスペシャリスト科 (システム専攻/モバイルアプリ専攻)											
プロジェクトマネジメント											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	太田			実務経験	有	職種	システムエンジニア				
授業概要											
プロジェクトマネージャーの業務ノウハウを学びます。											
到達目標											
PMBOKの知識管理体系の中から、「スコープ管理」、「スケジュール（進捗）管理」、「プロジェクトチームの管理」、「実績報告、リスク（課題）の監視／管理」について、演習を通して、重点的に学習する。これにより、プロジェクトマネジメントの必要性を体感的に覚える。また、プロジェクトが思い通り進まない場合に、原因分析や、その対処方法についても合わせて身につける。											
授業方法											
初回のオリエンテーションで、プロジェクトマネジメントの本質（重要性）を知り、学習することの意義を理解する。次にPMBOKの知識管理体系を学習し、管理対象や管理方法について知識レベルで身につける。並行して実施される「システム開発グループ演習2」と連携しガントチャートを用いた進捗管理演習を行う。週に一度、進捗報告資料や課題管理表を作成し、担当教員を顧客と見立てて定例報告を行いフィードバックを受ける。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
品質管理については、テスト技法で重点的に学習することとし、本科目では、演習の対象としない。本科目で行う演習は、「システム開発グループ演習2」と連携しながら行う。チームでの作業になるため、メンバーとしっかりコミュニケーションをとり、目的・目標をしっかり理解し、能動的に授業に取り組むこと。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
図解入門よくわかる最新PMBOK											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション（プロジェクトマネジメントの重要性を知り、学習することの意義を理解する）										
第2回	プロジェクトマネジメント手法(1)（PMBOKの知識管理体系を理解する）										
第3回	プロジェクトマネジメント手法(2)（PMBOKに定義されている管理項目のうち本科目で重点的に学習する項目を把握する）										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
I T スペシャリスト科 (システム専攻/モバイルアプリ専攻)	
プロジェクトマネジメント	
第4回	プロジェクトマネジメント手法(3) (プロジェクトマネジメント演習の進め方を理解する)
第5回	プロジェクトマネジメント演習(1) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第6回	プロジェクトマネジメント演習(2) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第7回	プロジェクトマネジメント演習(3) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第8回	プロジェクトマネジメント演習(4) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第9回	プロジェクトマネジメント演習(5) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける。)
第10回	プロジェクトマネジメント演習(6) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第11回	プロジェクトマネジメント演習(7) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第12回	プロジェクトマネジメント演習(8) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第13回	プロジェクトマネジメント演習(9) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第14回	プロジェクトマネジメント演習(10) (進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける)
第15回	クロージング (演習結果について担当教員から学生に総評を伝え、振り返りを実施する)